

静岡商連 News

第54回総会 第8号



(発行)
静岡市駿河区泉町 7-12-8
松山ビル 2F
Tel.054-283-8885
Fax.054-286-5263



静岡県商工団体連合会

2016年3・1ビキニデー成功に向けて ビキニデーと県内の平和問題を考える学習交流会

1月18日、県連で「3・1ビキニデーと県内の平和問題を考える」学習交流会を開催し県連役員と民商から9名が参加しました。今年、戦争法が成立して以来はじめての3・1ビキニデーです。いつにも増して重要な今年のビキニデー集会への参加に向け、全国各地で取り組みが行われています。集まった参加者も、ビキニデーや平和行進の歴史と意義を改めて学び、開催県として多くの参加で成功させようと運動を交流しました。

平和行進「たった一人で歩きはじめて」に驚き

はじめにDVD「一歩でも 二歩でも 2015国民平和行進」を鑑賞しました。冒頭で、現在日本の70%以上の自治体を通過し、延べ10万人以上が参加している平和行進の始まりは、今から58年前(1958年6月)、広島の西本あつしさん(故人)が、東京で開かれる第4回原水爆禁止世界大会を目指し、広島からたった一人で歩き出したことだったことが紹介されていました。



「原子物理学が生んだ原水爆が、最高の叡智を傾けたものが、全て私も自身を滅ぼしつつあることに対し、私どもは最も人間の原型とも云うべき『歩

く』という単純な姿において、全世界に日本人の良心を訴えてまいります」と語った西本さんの行動に共感した人々が、毎日1人、2人と増えていき、東京に着するまでに延べ1万人の大行進となったことを当時の映像で知ると、参加者は「一人で歩き始めたとは知らなかった」と驚きながら、西本さんの行動力とその精神に共感し、これまで毎年欠かさず続けられていることに改めて感動した様子でした。

映像には毎年必ず歩いている高齢の被爆者、戦争体験者が「体も大変だし今年はまだもう歩くのを止めようか」と悩みながら毎年参加している様子や、地域でカンパ集めや給水のために走り回る人たちの様子まで、平和行進を支える多くの仲間が紹介されていました。

静岡県内の平和行進の様子がたくさん紹介されていて、中でも富士宮民商がポスター貼りや商店街へカンパをお願いして歩く様子などはかなりの時間を割いて紹介されており、参加者もよく知る顔が映し出されると「富士宮ではこんな風に取り組んでいるんだ」などの声が上がりました。暑い中での給水の様子は地域に



より様々で、飲み物だけでなくアイスやかき氷、冷えたスイカや桃が配られたりするのを見て「こんな感じなら暑い中でも楽しみがあつて良いね」

など感想が出されました。

その後、講師として参加してくれた大牧正孝・県原水協事務局長より、焼津の第五福竜丸がアメリカの水爆実験で被災した当時の、マーシャル諸島における67回にも及ぶアメリカの核実験の拠点や規模、第五福竜丸以外にも被災した多くの日本漁船の様子などが説明されました。62年を経とうとしている今でも、年々隠されていた事実が判明しており、いまだに国から被爆者として認められない当時の漁船乗組員の苦しみや、被爆国でありながらそういった事実を隠し再び戦争参加に道を開こうとしている安倍政権への怒りにまで話が及びました。

意見交流では改めて、ビキニデー集会、平和行進、原水禁世界大会の意義などを出し合いました。沼津の中田聡事務局は「子どものころ親にくっついて訳も分からず参加していたが、学習で平和行進がなぜ始まったか、なぜみんな歩くのかよく分かった。申告に向けての計算や相談など忙い時期だが、多くの仲間を声掛け参加したいと思う」と語りました。

また、映像の中にもある静岡市清水区

3月1日は焼津へ

ビキニ水爆被災62年 2016年3・1ビキニデー



久保山愛吉氏墓参行進

9時15分 焼津駅南口集合
9時30分 出発

墓前祭

10時30分 弘徳院にて
※弘徳院から焼津市文化センターまで、実行委員会のバスが出ます
(大人300円、子ども150円)

【午後】

3・1ビキニデー集会
焼津市文化センター大ホール
13時〜15時30分